

教育環境の整備

楡葉町地域学校協働センターと福島大学
災害ボランティアセンターの協定締結

昨年度楡葉町教育委員会から、子どもの数が少なく固定化された人間関係のため多世代と交流したいという相談があり、サテライトのコーディネートにより福島大学災害ボランティアセンターと連携し様々な交流プログラムを実施しています。

今後、更なる連携・協働を図るため、今年度開所した楡葉町地域学校協働センターと福島大学災害ボランティアセンターの協定締結に向け打ち合わせを進め、2022年6月1日付けで協定が締結されました。これにより活動がスムーズになり、地域コミュニティの活発化や地域教育力の向上が見込まれます。

サテライトではこれからも教育現場のニーズに沿った支援を続けて参ります。



地域学校協働センター 猿渡センター長(左)と
災害ボランティアセンター鈴木顧問(右)



ふたば幼稚園 大きなアートのワークショップ

いわき市に仮設の園舎があるふたば幼稚園では、様々な経験を通し心身の成長を育む取り組みを行っています。

今回は福島大学の渡邊見一教授にご指導頂き、「フィンガーペイント」を使った大きなアートに挑戦。子どもたちは初めての絵の具の匂いや感触、全身を使って描くアートに終始大興奮！五感を刺激しながら、自由な感性が輝く素敵なワークショップとなりました。

NEWS

ぐるぐるMAP第7版、
ご活用ください！

「ぐるぐるMAP」は双葉郡8町村の役場職員と地域の団体の方々で構成される「ふたばの明日を考える会」の、双葉郡の情報が分かる地図を作りたい！というアイデアから生まれました。第1版が発行された2016年当時は、双葉郡を訪れ、暮らし、働くために最低限必要なガソリンスタンド、コンビニ、トイレが少なく、インターネット上では震災前と震災後の情報が混在していたので、正確な最新情報が掲載されているぐるぐるMAPは貴重な情報源となり、復興を支えてきました。

それから6年、復興が進んで来たことで徐々に観光の要素も追加され、今年の1月に発行した第7版からは南相馬市、飯館村、川俣町、田村市を加えた12市町村を掲載する広域マップとなり、復興のあゆみと、地域の魅力を伝えるぐると訪れてください。

ぐるぐるMAPは掲載市町村役場や公共施設、道の駅等を中心に配布しています。手に入りにくい場合やまとまった部数が必要な方、設置にご協力いただける場合など、富岡サテライト【TEL:0240-23-6675（富岡町役場内）】までご連絡ください。第8版は2023年1月発行を予定しています。お楽しみに！



こちらから
ご覧いただけます



サテライトのご紹介

地域復興支援担当

私たちは地域の復興をサポートしています！

地域復興支援担当では、市町村の枠を超えた連携の支援や、相双地域外の方が相双地域の復興に触れる・知る機会の提供等を行っています。

2015年に発足した「ふたばの明日を考える会」は、市町村の復興推進関連業務に携わる実務者の相互交流を通じ、復興推進・地域振興等の施策の在り方について「Give&Take」の精神で討議する場です。役場職員が地域にとってより良いことは何かを常に考え行動するために、日常業務の中で抱える疑問や課題などを共有し、地域課題への認識を深めています。

サテライトでは今後も地域の復興に向けた課題の解決支援を続けて参ります。



32

2022. 夏号

「相双の風」は、被災地域の今と、福島大学相双地域支援サテライトの取組みを紹介するニュースレターです。相双地域支援サテライトは被災地と福島大学をつなぐ現地拠点として、被災地域復興に向けた支援活動を行っています。



TOPICS | トピックス

すくすくと育む。美しきふるさと、かつらお。

今年の6月、帰還困難区域の一部で避難指示が初めて解除になり、葛尾村はまた新たな一歩を踏み出しました。

2016年に帰還困難区域を除く避難指示が解除された翌年には、胡蝶蘭の栽培が始まり、畜産業も再開しました。今では乳牛・肉牛・羊・鶏に、観光牧場「かつらおやぎ広場がらがらどん」のやぎも加わり、村民よりも多いといわれるたくさんの動物たちが、のどかな自然の中ですくすくと育っています。2015年に試験栽培から再開した稲作の作付面積も年々増加し、今年は震災前の4割まで回復。震災があったことを忘れさせる、美しい田園風景が広がっています。昨年からDASH村米作りの舞台となり、頑張る葛尾村への応援が全国から届いています。クリムゾンクローバーの花畑が赤い絨毯のように村のあちこちに広がる葛尾村。花が終わると土壌に梳きこまれ、夏には飼料用のトウモロコシをぐんぐん育てる緑肥となります。

初めて訪れるのになぜか懐かしい。ふるさとかつらおへ、再び。



福島大学公式マスコット
キャラクター めばえちゃん



広野町

Hirono town

ひろばーのごちそう、めしあがれ

広野町の新名物、農薬不使用で栽培したバナナ「綺麗」が入った「プレミアムバナナプリンひろばーのごちそう」が4月に発売されました。(3個入り 税込2000円)

南相馬市のまつなが牛乳を使い、いわき市のいわき遠野らばんで製造し、商品のシール貼りや箱詰めは広野町の社会福祉法人友愛会ワークセンターさくらの利用者さんが担って完成させ、ニッポ公園内のトロピカルフルーツミュージアムで販売しています。お土産やお中元など贈答品として喜ばれること間違いなしですね！



広野町振興公社
バナナ「綺麗」について



檜葉町

Naraha town

焼きいもラテ販売

チャレンジ農業として檜葉町が取り組んでいるサツマイモ、その六次化商品の第1弾として焼きいもラテ「Na-latte (ならって)」が販売しました。

栄養価も高く、スッキリとした味わいとなっています。天神岬内ウィンディールランド及び道の駅ならはで販売中です。

- ▶ウィンディールランド/TEL:0240-23-5080
- ▶道の駅ならは/TEL:0240-26-1126



富岡町

Tomioka town

富岡町の新たな“集い・憩い”の場

富岡第二小学校跡地に「共生サポートセンター さくらの郷」がオープンしました。人と人、人と地域がつながってにぎわうように「特別養護老人ホーム 桜の園」と「トータルサポートセンターとみおか」で構成されています。「トータルサポートセンターとみおか」内には、子どもから高齢の方まで、一人ひとりのニーズに合わせた運動ができるメディカルフィットネス、会議室やワークショッブルーム、カフェがあります。Wi-Fiや電源が完備されているので、ノマドワークもはかどりそうですね。

- ▶トータルサポートセンターとみおか/TEL:0240-25-8912



HP▶

川内村

Kawauchi village

雨にも負けず 今年も開催出来ました！

6月12日に川内村三大祭りの一つ「かわうち高原ドウダン祭り」が2年連続開催されました。今年はいにくの雨で屋外イベントは見送りとなりましたが、「いわなの郷体験交流館」ではゲストのプロアドベンチャーレーサー田中陽希さんとタレントなすびさん、遠藤村長さんによるトークセッションが行われました。

村内外から熱心なファンが、立ち見が出るほど詰めかけ、お三方の話に会場内は大いに盛り上がりしました。



大熊町

Okuma town

大熊町移住定住 支援センター開所！

2022年4月より「大熊町移住定住支援センター」が運用開始となりました。旧大野児童館を改修したかわいらしい建物です。指定管理者として一般社団法人おおくままちづくり公社が施設の管理運用を担っています。

「移住者に全力で寄り添うサポート」「移住者も帰還者も町に関わる方も、垣根なく集える場づくり」「魅力ある大熊町を醸成し、情報発信」を主軸とし、大熊町の再興に向けて丁寧に取り組んでまいります。



大熊町移住定住
ポータルサイトはこちら



双葉町

Futaba town

世界でひとつだけの オリジナルマンホール

ふくしま応援ポケモン「ラッキー」や双葉町の花である「サクラ」などでデザインされた、世界でひとつだけのオリジナルマンホールである「ポケふた」が双葉町産業交流センターに設置されます。

順次、スマートフォン向け位置情報ゲーム「Pokémon GO」の「ポケストップ」にもなる予定です。ぜひ来館ください。



双葉町産業交流センター
HP



浪江町

Namie town

さまざまな人が 気軽に立ち寄れる場所へ

産民学連携のまちづくり拠点「浜通り地域デザインセンターなみえ」が開所しました。大学生や民間企業のスタッフが、地域のことを町民の方に教えてもらいながら、町内外の訪れた方と一緒に防災や交通などのまちづくりを考える場所です。

雑談しに來たり、リモートワークしに來たりと気軽にお立ち寄りください。浪江町産の木材を使った温かみある雰囲気施設の施設でお待ちしています！



葛尾村

Katsurao village

にぎやかに！ 4回目のあぜりあ市

6月5日、復興交流館あぜりあにて4回目となるあぜりあ市が開催されました。さわやかな青空の下で首相・知事・村長が来場したこの日、20件を超す村内外からの出店と来場者600名も訪れ、大変にぎやかな日となりました。今年新たに設置された特設ステージではバンド演奏などもあり、抽選会では商品をめぐって子どもたちが大興奮！お客様にも出展者様にも、葛尾に関わってくれた全ての人に「ありがとう」との意味を込めたあぜりあ市。来年はコロナの収束を祈り、より大盛況となることを目指します！



飯舘村

litate village

モニター利用スタート

村民の森あいの沢 オートキャンプ場で、4月23日から、モニター利用がスタートしました。長期間のブランクがあり、施設が充実している訳ではありませんが、モニター利用を通して皆様からご意見をいただき、今後の整備・運営の参考にさせていただきます。現在使用できる施設は、炊事場・トイレ・シャワー（有料）のみで、用品の貸し出しはありません。モニターとしてご利用いただける方は、あいの沢管理棟へお問い合わせください。



地図

- ▶村民の森あいの沢 オートキャンプ場/TEL:0244-42-0511
- ▶時間 9:00～16:00



田村市

Tamura city

笠石山刃の割石

岩井沢馬酔木沢地内には、笠石山刃の割石をはじめとし数々の巨石群が点在しています。昔、干ばつが続いた際、集落の農民が雨ごいをする、罔象の神が現れ剣を天に捧げるとたちまち辺りが暗くなり稲光が刃と化し、巨石を割りその間から大量の水が流れだし、集落を救ったと伝えられています。また、周囲には亀の形をした古代亀石や船石などがあります。都路町観光協会では、遊歩道などを整備し散策しやすくなっておりますので、ぜひ一度、巨石群を見に訪れて下さい。



南相馬市

Minamisoma city

「野馬追の里」で 馬と暮らす日常を。

馬の社会価値を高めることを目指し設立したホースバリュー。町中を馬に乗って散歩する「小高うまさんぽ」、馬に乗って森の中や海岸沿いを歩く「トレッキング」など、初めての馬に触れる方でも気軽に体験できる機会を提供しています。

特に15回コースの乗馬プログラムは、初心者でも準備・乗馬・乗馬後のケアを一人でできるように組まれ、馬との関係を築きながら最終的には浜辺を一人で走ることができるまで上達します。馬と暮らす日常を体感してみたいいかがでしょうか？



ホースバリューHP

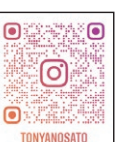


川俣町

Kawamata town

「おきがるマルシェ」

とんやの郷では毎月第1日曜日に、おきがるマルシェを開催しています。おきがるマルシェでは、アンズリウムや工芸品、地元NPOによるおこわや唐揚げ等の軽食を販売しており、オカリナやウクレレの演奏がお休み中の皆さんの心をいやします。今後もマルシェを通じてとんやの郷や山木屋地区の賑わいや人と人とのつながりを育んでいきます。



とんやの郷
Instagram

- ▶山木屋地区復興拠点商業施設/TEL:024-563-2021

